

県北浄化センターの被災について（第5報）

国見町徳江地内にある県北浄化センターは、令和元年東日本台風降雨により被災し、従来の下水処理ができない状況にあります。センター周辺の皆様や下水道を利用している皆様には大変ご心配とご迷惑をおかけしております。

現在、令和3年度末の完全復旧に向けて全力で取り組んでおりますが、この間、段階的に下水処理の質を上げながら復旧工事を進めていく予定です。

皆様には下水処理機能が回復するまでの間、普段以上に節水を心がけるなど、生活排水の抑制にご協力をお願いいたします。

なお、県北浄化センターの現状と今後の対応については以下のとおりです。

（1）現状（経緯）

- 令和2年5月末まで、下水処理の質の向上、浄化センター内の下水の流出防止、阿武隈川の水位上昇対策等を目的とした仮復旧を行ってきました。
- 令和2年11月中旬までに水処理施設の仮復旧や仮設送風機の増設を行い、被災前の60%程度の下水処理能力を確保できることとなり、さらに下水処理の質を上げることが可能となりました。

（2）今後の対応

- 仮復旧した水処理施設が確実に運転できるよう、日々のメンテナンスを十分に行います。
- 災害復旧工事については、土木工事を除いて、10月末までに契約が完了しており、処理場の早期復旧を図ってまいります。

（3）皆様へのお願い

災害復旧工事に着手するため、11月下旬頃から浄化センター付近の工事用車両の通行量が増加します。細心の注意を払いながら通行しますので、ご理解ご協力をお願いします。

県北浄化センター全景



最終沈殿池
(透過度が上昇しました。)

